

第15回 おおだいら ごせき 大平・後関遺跡 (佐原)

大平・後関遺跡は佐原小学校から北東へ約1kmの、鍛冶屋川に沿ったなだらかな丘陵上に広がる遺跡です。推定面積がおよそ7000㎡と大規模な遺跡であり、現在でも畑で作業中に縄文土器片や石器などを沢山見つけることがあるそうです。

平成5年より現在まで合計6回の発掘調査が実施され、縄文時代中期の竪穴住居や木の実を蓄えるための貯蔵穴が見つっています。また、出土した沢山の縄文土器や石器などから、縄文時代中期(約4,500年前)から縄文時代晩期(約2,300年前)までの長い期間、ここに集落があったことがわかりました。

弥生時代の壺型土器がまとまって埋められている場所も見つかりました。これは弥生時代のお墓と考えられ、弥生時代になってもこの場所が利用されていたことがわかります。



縄文時代中期の土器で、福島市では珍しい火炎型土器の影響を受けた土器(左から2番目)も見つかっています



弥生時代のお墓(再葬墓:さいそうぼ)に使われていた壺型土器

開園時間 9:00~17:00 (駐車場は8:30~17:30)

定休日

- ◆体験学習施設・露出展示棟
 - ▶火曜日/年末年始(12月29日~1月3日)
 - ※火曜日が祝日の場合は、翌日以降の祝日にあたらない日
 - ※福島市公立学校の春・夏・冬季休業中は毎日閉館
- ◆休憩棟・炊事棟
 - ▶年末年始(12月29日~1月3日)
- ◆公園区域・駐車場・休憩棟内トイレ
 - ▶定休日なし

住所 〒960-8201 福島県福島市岡島字宮田78

電話 (024) 573-0015

FAX (024) 573-0016

体験学習施設 展示室観覧料

個人 一般200円/高校生以下100円

団体 一般140円/高校生以下70円

※未就学児無料 ※団体は20名から

県都ふくしま人のためのやさしい地元学

じょーもびあ・遺跡の案内人主催事業

第2回オープンカレッジ

「旧石器時代研究の最前線~福島を中心に~」

講師: 會田容弘氏(郡山女子大学短期大学部准教授)
 日時: 平成28年9月11日(日) 午後1時30分~3時
 場所: じょーもびあ宮畑体験学習施設じょいもん
 定員: 80名(先着順/事前申し込み不要)
 参加費: 無料

第3回オープンカレッジ

「古代人の精神の軌跡

~縄文から仏教伝来まで 遺跡に残された古代人のこころのかたち~
 講師: 紺野義行氏(じょーもびあ・遺跡の案内人会長)
 日時: 平成28年10月15日(土) 午後1時30分~3時
 場所: 福島市市民会館 第2ホール
 定員: 100名(先着順/事前申し込み不要)
 参加費: 無料

開園から1年、じょーもびあ宮畑は、市内外の小学生たちが縄文時代を体験し学習する場として活用されています。

また、学習センターや各種サークルの団体・一般の方など、この1年で7万人を超える来園者をお迎えしました。

でも、「福島にこんな素晴らしい遺跡があることは知らなかった」という声が寄せられます。

そうした声にこたえ、一人でも多くの方にご来園いただき、縄文時代を学び楽しく体験していただけるよう、じょーもびあ宮畑の職員・遺跡の案内人等スタッフ一同、工夫と研鑽をかさねて皆様をお待ちしております。



クルミの実も大きくなりました

編集後記

じょーもびあ宮畑 だより 第18号 平成28年8月



★「じょーもびあ」とは、「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です。

発行: じょーもびあ・遺跡の案内人
 編集: じょーもびあ宮畑だより編集班

縄文シティサミット in ふくしま 開催決定!

平成28年8月20日(土) 福島テルサ
 21日(日) じょーもびあ宮畑

縄文都市連絡協議会は、全国の縄文遺跡を有する都市のネットワークで、北は北海道伊達市から南は鹿児島県霧島市まで全国16自治体で構成されています。縄文の魅力・深さ・歴史的意義を全国にPRするとともに、縄文の心や文化観を共有し、まちづくりに活用するための方策を探ることを目的に平成10年に設立されました。



縄文都市連絡協議会では毎年縄文シティサミットがひらかれ、第19回に 平成22年 第13回縄文シティサミット in ふくしまの様子あたる今年は「みんなが誇れる”まちづくり”と縄文人の心」をテーマに、8月20日~21日に福島市で開催されます(6年ぶり2回目)。

8月20日(土)は福島テルサで作家の夢枕獏氏の記念講演や首長討論が予定されており、あわせて加盟都市の遺跡紹介コーナーも設けられます。

翌日の8月21日(日)にはじょーもびあ宮畑で首長による各都市の紹介が行われ、普天間かおりコンサート・太鼓祭などが予定されています。また、じょーもびあ宮畑夏まつりが開催され、遺跡の案内ガイド、弓矢・縄文服の試着・勾玉づくりなどの縄文体験、福島市の特産品や軽食・飲料などの販売も行われます。

なお、詳細につきましては市政だより8月号をご覧ください。

縄文都市連絡協議会加盟都市と主要な縄文遺跡

伊達市	北黄金貝塚	北秋田市	伊勢堂岱遺跡	小矢部市	桜町遺跡
洞爺湖町	入江・高砂貝塚	秋田市	下堤A遺跡、寺方遺跡	恵那市	染戸遺跡
函館市	恵山貝塚、大船遺跡	東松島市	里浜貝塚	若狭町	鳥浜貝塚
青森市	三内丸山遺跡	福島市	宮畑遺跡、和台遺跡	霧島市	上野原遺跡
大館市	池内遺跡、塚ノ下遺跡	糸魚川市	長者ヶ原遺跡、寺地遺跡		
鹿角市	大湯環状列石	塩尻市	平出遺跡		

じょ-もぴあ宮畑 開園から一年

2015年8月8日
全面開園

じょ-もぴあ宮畑はこの8月で開園から一周年を迎えます。開園からの一年間を写真で振り返ってみました。

8月



体験学習施設テープカット



オープニングイベント/市民音楽祭



9月



縄文土器づくり



じょいもん



ワークショップ
土偶づくり



じょ-もぴあ宮畑秋まつり
縄リンピック/丸太ごろがし



アンギン編みでタペストリーづくり

1月



フィールドワーク
東部地区の歴史と文化



じょ-もぴあ宮畑秋まつり
草むしりリンピック

10月



じょ-もぴあ宮畑秋まつり
柱食い競争



親子で凧づくり



キャンドルシェード作り

12月



宮畑講座
石器づくり名人がやってきた!



11月



オープンカレッジ



シンポジウム
史跡の保存と公開



2月



親子で鬼のお面づくり



ひな人形づくり



5月



7月



じょ-もぴあ宮畑
縄文時代の人と地域のつながり

3月



4月



宮畑縄文人体験会



縄文鍋まつり
フリーマーケット



6月



フィールドワーク
縄文奥の細道(飯坂~茂庭地区)

シリーズ展示案内 ③

じょいもんの展示室は◆縄文の四季◆直径90cmの柱から見える縄文社会◆縄文人のおくりといのり◆縄文時代の人と地域のつながり◆企画展示コーナーの五つのコーナーで構成されています。



「縄文の四季」は、縄文時代の人々の営みを春夏秋冬に分けて、それぞれの季節ごとの暮らしを紹介しています。また、現在の福島市の四季の映像とあわせて、縄文時代から続く豊かな自然との共生をあらわしています。



「直径90cmの柱から見える縄文社会」は、宮畑遺跡の調査で発見された直径90cmの柱を持つ縄文時代晩期の掘立柱建物がなぜ建てられたのか、どのように建てられたのかを解説したコーナーです。

「縄文人のおくりといのり」では土偶や子供のお墓などを通して縄文時代の精神文化を解説しています。重要文化財に指定されている上岡遺跡(飯坂町東湯野)出土の土偶を展示しているのもこのコーナーです。

「縄文時代の人と地域のつながり」では、アスファルトに注目して縄文時代の交流や交易について解説しています。

次回からはそれぞれのコーナーを詳しくご案内しますので、楽しみに。